IIDA CITY
広報いいだ
2026
（令和8年）
12
No.1214



特集

消防団の新しいカタチ
～自分らしく、地域を守る～

消火体験をサポートする消防団員
【飯田丘のまちフェスティバル】
地域を守るという思いを胸に、時代に合わせて変わり続ける消防団。さまざまな立場や経験を生かし、それぞれの形で地域を支えています。

特集



消防団の新しいカタチ

～自分らしく、地域を守る～

「きつい」「仕事との両立が大変」「お酒ばかり飲んでいる」
消防団に、そんなイメージを持っていませんか？
時代とともに変わりつつある消防団。今回は、今の消防団の姿を紹介します。

◉問い合わせ／危機管理課 消防団係　内線2438

INTERVIEW

女性団員の声



●飯田市初 女性副分団長　**佐々木さん**
●第2分団（橋北・東野）所属 14年目

かけがえのない経験ができ 人生の幅が広がる貴重な財産になりました。

かけがえのない経験が消防団ではできます。

面倒に感じたり、地域とのつながりを煩わしく思ったりするかもしれませんが、実際に体験してみると印象が変わるかもしれません。現在の仕事に活かせたり、新たなつながりが生まれることもあります。私自身、活動後の打ち上げで行ったお店で、お店の人と仲良くなることができ、交友関係が広がりました。消防団活動が、人生の幅を広げる貴重な財産になっていると感じています。仕事を理由に入団を迷う方もいると思いますが、先入観で決めずに一度体験してみてほしいです。昔の『先輩が怖い』、『お酒ばっかり飲んでいる』、『帰れない』といった話は少しずつ変わってきています。訓練時間には制限が設けられ、食事だけで解散することもありますし、お酒を強要されることもありません。無理なく、自分にできる形で活動できるよう、団員同士で相談しながら活動しています。

副分団長（※）に挑戦した理由

飯田市消防団全体の広報や救護などを担っていた女性部が今年度廃止になったことを機に、分団幹部に女性がいないのはよくないと考えたからです。とはいえ、第2分団の幹部である副分団長は責任の大きな役職でもあり、すぐに決断できたわけではありません。現分団長が団員に聞き取りをしてくれるなど、団員とたくさん話し合いをする中で、一緒に活動する仲間の心強さを改めて実感し、それが最後に決断する後押しとなりました。副分団長としての活動は、今までにない経験ができ、新たに学ぶことがたくさんあります。仲間とともに成長し、みんなでより良い消防団を築きたいです。

※副分団長は、分団長を補佐する役職。
消防団は地区ごとに活動しており、市内に18の分団がある。



女性団員の活動について

今まで男性・女性それぞれが担っていた活動を性別に関係なく担い、限られた人材で活動できるようになりました。例えば、女性がホースを使い放水することや、男性が救護活動を行うことなどがわかりやすい例です。ただ、どうしても家族の事（子育てや家事など）があるので、イベントの際は、「お子さんを連れてきていいよ。みんなでみようよ」と声を掛け合えるような雰囲気をつくり、誰にとっても挑戦しやすく、安心して活動できる消防団を目指したいです。



令和5年には、長野県代表として、
第25回全国女性消防操法大会に出場し、敢闘賞を受賞。

INTERVIEW

再入団員の声



- 第18分団（南信濃）所属
  益山さん
- 49歳

経験を生かして、もう一度
飯田市第13次消防力（消防団）整備計画を機に、
再入団しました。

南信濃への移住を機に消防団に入団し、16年間活動しました。分団長まで務め上げた後に退団しましたが、今年4月、所属可能年齢の引き上げを機に、9年ぶりに再入団しました。きっかけは、現第18分団分団長に声をかけていただいたことです。正直な話、「ブランクもあるし、めんどくさいなあ」と思いました。それでも、地域に恩返しがしたいという思いや、地域で何かあったときに駆け付けられることの誇り、家族から「地域を守っている姿がかっこいい」と言ってもらえることもあり、再入団を決めました。再入団後、火事の現場でこれまでの経験が役立つ場面もあり、「自分もまだ、ちょっとは役に立てることがある」と感じました。後輩から頼りにしてもらえることはもちろん、以前一緒に活動していた仲間と再び関わる機会ができたことも嬉しいです。「同じ志をもって何かする仲間がいるのはやっぱりいいね。『大人の部活』みたいだね」とよく話しています。地域のために、まだ自分にできることがあると思っている人はたくさんいると思います。ぜひ声をかけてみてください。



入団した頃の益山さん▶
（左から3人目）

前のページで紹介した２人のように、性別に関わらず、幅広い年代の方がそれぞれのライフステージに合わせて地域防災に携われるよう、新たな計画を策定しました。

「飯田市第13次消防力（消防団）整備計画」は令和８年４月から令和13年３月までの５年間を計画期間として、安全・安心のまちづくりに貢献します。

どこが変わった？

飯田市第13次消防力（消防団）整備計画

［主な事業の抜粋］



組織編成

- 定員を1,205人から839人に変更しました。
- 基本団員・支援団員の**所属可能年齢の上限を引き上げ**、経験豊富な団員が長く活躍できる体制にしました。
- 基本団員／18歳～65歳　● 支援団員／44歳～70歳
- 団本部の**女性部・広報部の廃止**など、組織の見直しを行いました。
- 各班の**統廃合を検討**します。



人材育成

- 仕事の都合や育児などで長期間活動に参加できなくても、退団せずに復帰できる**休団制度を導入**しました。
- **支援団員の任務・処遇を見直し**ました。
- 役割に応じて**年額報酬などの処遇を見直し**ました。

機械整備

- 消防ポンプ自動車など**車両の適正配置と仕様変更**を進めます。

詰所・資機材整備

- だれでも消火活動が行えるよう、**扱いやすい消火資機材を導入**します。
- 耐震化や統廃合など、**詰所を適正に管理**します。

※その他の変更事項は、市ウェブサイトで確認できます。

ID 136171

COLUMN

みんなで作り上げる、第17分団（上村）



消火技術を競う操法大会で活躍し、上村地区を盛り上げている17分団。

活躍の裏には、地域で、みんなで支える精神がありました。

令和8年度結果
- 飯田市大会…初優勝
- 飯伊大会……初優勝
- 県大会……5位入賞

●分団長：山口さん

今年度分団長となり、初めのころは、できることは自分でやらなければ、という思いがありました。でも自分がいっぱい、いっぱいになってしまった時に、17分団みんなで手分けして協力してくれました。消防団の行事や訓練などは大変なこともありますが、霜月祭のように、みんなで準備して、みんなで参加し、みんなで喜び合う。そんな雰囲気に自然になっていたと思います。



▲遠山さん（左）、山口さん（右）

●前分団長：遠山さん

（県大会で個人賞受賞。大会には指揮者として出場）

飯伊大会は、雨でぬかるんだ状態での挑戦でした。まちづくり委員会の皆さんとの慰労会も、手ごたえのなさからかどこか盛り上がりに欠けていました。しかし、団長から優勝の知らせが届くと、全員が爆発したように大喜び。仲間の胴上げが終わりませんでした。指導してくれたベテラン支援団員の方をはじめ先輩達、また協力してくれた他分団の皆さまにはすごく支えていただきました。優勝という結果が嬉しかったのはもちろん、自分のことのように喜んでくれる周囲の人たちの存在もすごく嬉しかったです。

これからの地域に合わせた、消防団の新しいカタチ



飯田市消防団は、人口減少が進むなかでも地域の安全を守り続けるため、実態に合わせて定員や組織を再編し、より活動しやすい環境づくりを進めています。

地域の防災力を維持しながら、持続可能な組織へ。新しい一歩を踏み出す消防団へのご理解とご協力をお願いいたします。

消防団員になるには？

飯田市在住の18歳以上の方であれば、会社員、自営業者、学生、主婦など、職業や性別は問いません。まずはお話だけでも構いません。関心がある方は、右のQRコードからぜひお問い合わせください。

PHOTO NEWS

サブカル・グルメの大祭典
飯田丘のまちフェスティバル



コスプレイヤーたちのランウェイ


PR大使に感謝状を授与

11月3日、サブカルやグルメなどを楽しむ人々が中心市街地に集まり、活気に包まれました。中央通りには痛車が並び、コスプレイヤーたちが行き交うなど、日常とは違う雰囲気になりました。PR大使を務める声優の高木美佑さんは今年で殿堂入りとなり、オリジナルのナミキちゃん衣装をまとい会場を盛り上げました。

南信州環境メッセ2026



ごみの仕分けを体験

環境に携わる企業や団体、行政など約60団体がエス・バードに集まり、取り組みの展示や発表を行いました。水素エネルギーやウッド・チェンジなど、環境に幅広く触れる催しとなりました。

落語を楽しむ
おいでなんしょ寄席



10月21日、日本テレビ「笑点」の大喜利メンバーでもある春風亭一之輔さんらを迎え、人情噺や滑稽噺が披露されました。平日にもかかわらず、文化会館は満席となり、会場は笑いに包まれました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRをスキャン

Instagram

第19回 南信州 獅子舞フェスティバル



山本南平獅子舞保存会の演舞

10月18日、飯田下伊那地域などの25団体が、中心市街地に集まり、演舞を披露しました。当日は快晴で、特徴の異なる獅子を見比べて、多くの人が迫力ある演舞に魅了されました。

いとうせいこう さん 田中芳男を語る



鼎文化センターで開催（10月18日）

飯田出身で「博物館の父」と呼ばれる田中芳男。没後110年の節目に、NHK連続テレビ小説「らんまん」で田中芳男をモデルにした人物を演じた「いとうせいこう」さんのトークイベントが開催されました。

津田塾大学の学生が 飯田水引をPR



あわじ結びと梅結びを体験

津田塾大学（東京都）の学園祭「津田ヶ谷祭」で、飯田市について学ぶ学生グループが、飯田水引のワークショップを行いました。リピーターも訪れ、飯田水引の魅力を発信する機会となりました。

野底山森林公園にて もみじ祭り



モーリー君と記念撮影

11月8日、紅葉に彩られた会場では、グルメブースや木工体験、ステージ発表などが行われ、多くの人でにぎわいました。高校戦隊テックレンジャーも登場し、会場を盛り上げました。

現代版 養生訓

消化器外科
水上佳樹 医師

がん免疫治療のいま・未来

飯田市の皆さまへ。飯田市立病院消化器外科の水上です。私は前回、2024年9月の広報いいだの“現代版養生訓”で抗がん治療の新規薬剤として抗PD−1抗体薬の作用機序について説明させていただきました。

私が医師になった約30年前、消化器がんに対する治療薬は主に殺細胞性抗がん剤というものがメインであり、免疫力を利用した実効果のある薬剤は開発に100年はかかると言われておりました。しかし、昨今のがんに対する薬剤の開発には目を瞠(みは)るものがあります。例えばStage Ⅳb(ステージ・フォー・ビー)の食道がんは昔であれば、診断されてから抗がん剤治療を開始しても1年生存できるか否かというような状況でした。しかし、今では免疫に関連した薬剤の使用によって約6人に1人は5年間生存できるような治療成績が報告されています。

昨年2025年にノーベル賞を受賞された大阪大学の坂口志文(しもん)先生の研究テーマである制御性T細胞というリンパ球の一つはがん患者さんの体内で増加することがすでにわかっており、この細胞を身体から減らすことができればがん細胞も減ることがわかっています。ただし、現在のところ制御性T細胞だけを除去・消失することはできない状況であり将来の薬剤開発が切望されるところです。私は外科医ですので手術的な治療を基本としていますが、例えばがんの発見時すでに大事な臓器や血管にがんが蔓延(はびこ)っていて手術不可能ながんが上記薬剤を巧く使用することで縮小し手術可能になるようなケースもあります。

以上のように人間に本来備わっている免疫力をパワーアップすることは非常に大事なことなのです。普段の生活の中でも食事、睡眠、運動だけでなく趣味を持ちストレスを減らすことやよく笑うこと、清潔を心がけることなどで免疫力がアップすることは様々な論文ですでに実証済みです。皆さまの日常生活の一挙手一投足が健康に密接に関係していることをお伝えできれば幸いです。

飯田市立病院　〒395-8502 飯田市八幡町438　☎0265(21)1255

Vol.67

市長室から

市長 佐藤 健

究極のいいだしっぺ

美術博物館で開催した特別展「没後110年 田中芳男大博覧会」の関連イベントとして、いとうせいこうさんのトークショー「“田中芳男”になった私」を開催しました。せいこうさんがNHK朝の連続ドラマ「らんまん」で田中芳男をモデルにした「里中芳生」の役を演じられたご縁でお招きしたものです。

せいこうさんは田中芳男について「あれこれ手掛けたマルチプロデューサー」「自分でもやったが、それ以上に人にやらせるのがうまい人」と評し、「いろいろなことをやり過ぎていて一言では功績を表現できない」とおっしゃっていましたが、それは飯田の魅力が一言で言い表せないのとよく似ているなと思いました。

かつて荒俣 宏さんが田中芳男のことを「究極の“よくわからないけど偉い”人」と評したそうですが、あれをやったら面白いのではないか、これを日本に導入したら世の中がよくなるのではないか、とあれこれやった（言った）田中芳男のことを、「究極の言い出しっぺ（飯田）」と呼んではどうか、とふと思いました。

せいこうさん曰く「今の日本は田中の作った『見取り図』の上に乗っかっている」。田中があれこれ言い出したことが今の日本を形作っていると考えると、せいこうさんが提案してくれたように、「田中芳男学会」を創設してそれをつまびらかにするのが飯田市の役目なのかもしれないと思ったことでした。

年末年始のお休みのお知らせ



市役所本庁舎・各自治振興センターは12月29日㈫から令和9年1月3日㈰まで休みとなります。このほか、年末年始の業務予定は下記一覧、または各施設に直接ご確認ください。

業務・施設	電話	28 (月)	29 (火)	30 (水)	31 (木)	1/1 (祝)	2 (土)	3 (日)	4 (月)	備考
ごみ										
ごみ収集（ごみ集積所）	0265(22)4511					休み→				
直接搬入（埋立ごみ） 飯田市最終処分場 グリーンバレー千代	0265(59)1153		※	休み→						※9:00～12:00 受け入れ
直接搬入（燃やすごみ） 稲葉クリーンセンター	0265(48)6648				休み→					
直接搬入（資源ごみ） 前田産業㈱	0265(22)2488			※	※	休み→			※	※8:00～12:00 受け入れ
直接搬入（資源ごみ） ㈱マエダ	0265(22)5328			※	※	休み→				※8:00～12:00 受け入れ
直接搬入（資源ごみ） ㈲ナカタ商事	0265(23)1558			休み→						
くみ取り										
し尿くみ取り 飯田清掃㈱	0265(23)0311		※	休み→						※8:30～12:00
手続き										
市役所本庁証明書発行窓口	0265(22)4511		休み→							
証明書コンビニ交付サービス	マルチコピー機設置のコンビニエンスストアなど		休み→							
医療										
市立病院外来	0265(21)1255		休み→							
市立高松診療所	0265(22)5060		休み→							
市立千代診療所	0265(59)2014		休み→							
市立上村診療所	0260(36)2050		休み→							
市立国保診療所 （上久堅・三穂・上村歯科・南信濃）			休み→							
水道開閉栓	水道の修理は、12月頃各戸配布する当番店一覧を確認し、依頼してください。 不明の場合は、市役所当直にお問い合わせください。☎0265(22)4511									
水道料金お客様センター	0265(21)1132		休み→							